資料３－１

コミュニティバスの再編ルート案について

内　容

各種調査（ＯＤ調査、事業者ヒアリング、住民アンケート）及び公共交通ワークショップを踏まえて、再編ルート案を作成したので報告するもの。今後は、幹事会にてルート、ダイヤ、運賃等を協議し、１１月の本会議にて素案の大枠を固める予定。

再編案

① 再編ルート案　資料３－２参照
② 主なポイント

ア　コミュニティバスやわたを東西に分割

- 利用者の多い「橋本東山本～八幡小学校」を含むルートをコミバス西ルートとし、「橋本東山本～石清水八幡宮駅」間を運行。利用者が多く見込まれるルートであることから、従来のコミュニティバスやわた同様、小型バス（29 人乗）を使用
- 一方、現行のコミュニティバスにおいて東部に位置する「蜻蛉尻～市民体育館」を含み、かつ交通空白地である西戸津・小松や延伸の要望がある丘陵地を加えたルートをコミバス東ルートとし、ワゴン型タクシー車両（9 人乗）を使用
- 「橋本東山本～八幡小学校前」⇔「蜻蛉尻～市民体育館」間の移動需要に対応するため、イズミヤショッピングセンター八幡をコミバス西ルートとコミバス東ルートの乗継拠点化

（参考）

・　「橋本東山本～八幡小学校前」間を移動する利用者数
☞　全体利用者数の 64.80％

・　「橋本東山本～八幡小学校前」⇔「蜻蛉尻～市民体育館」間を移動する利用者数　☞　全体利用者数の 13.87％

（ＩＣカードデータより R5.4.1～R6.3.31）

イ　石清水八幡宮駅への乗り入れ

➢ 公共交通ワークショップ等で、石清水八幡宮駅への乗り入れを望む意見が多いことから、コミバス西ルートと（仮称）東部地域予約型乗合タクシーのルートに石清水八幡宮駅を追加

ウ　イズミヤショッピングセンター八幡の乗り入れ

➢ 住民アンケート調査からイズミヤショッピングセンター八幡の需要が高いことから、コミバス西ルートとコミバス東ルートの乗継拠点を兼ねて双方のルートにイズミヤショッピングセンター八幡を追加

（参考）

・　回答者の約６～７割が週１日以上買い物利用
・　買い物先は、イズミヤショッピングセンターが最多

（住民アンケート調査より）

エ　（仮称）東部地域予約型乗合タクシーの導入

➢コミュニティバスやわたの現行ルートである「川口萩原～蜻蛉尻」をコミバス西ルートとコミバス東ルートはルート上に含まないため、これらの地域をカバーするため、（仮称）東部地域予約型乗合タクシーを導入。ただし、現行のコミュニティバスやわたにおける利用は少ないことから、セダン型タクシー車両を使用し、事前予約を要するデマンド（予約）型乗合タクシーとして運行

（参考）

・　「川口萩原～蜻蛉尻」を出発地あるいは目的地とする利用者
　　☞　全体利用者数の 5.12%（川口萩原を除くと 2.01%）

今後について

８月　八幡市地域公共交通会議（幹事会）　☞　ルート案協議
９月　八幡市地域公共交通会議（幹事会）　☞　ダイヤ・運賃協議
１０月　パブリックコメント
１１月　八幡市地域公共交通会議（幹事会）　☞　素案大枠協議
　　八幡市地域公共交通会議　☞　素案大枠協議
１２月　市議会報告